

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃ ~ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ~ +50℃ (梱包状態)	
	電 圧	AC/DC 30V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下 (結露しないこと)	
	電 流	0.3A \triangle	適合ケーブル	t=0.2±0.03mm : 金めっき	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。(注1)	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 気 的 性 能	耐電圧	AC 90Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	-
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	50M Ω 以上	○	-
	接触抵抗	開回路電圧AC 20mV以下, 1mAで測定する。	100m Ω 以下 ※FPC導体抵抗を含む (測定長 8mm)	○	-
機 械 的 性 能	耐振性	周波数 10~55Hz, 片振幅 0.75mm, 3軸方向各10サイクル試験する。	① 1 μ s以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: 100m Ω 以下 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	衝撃	加速度 981m/s ² , 持続時間 6ms, 正弦半波 3軸両方向各3回試験する。		○	-
	繰返し動作	10回の抜き差しを行う。		○	-
	FPC挿入力	適合FPCで測定する。 (初期, FPC端末厚 t=0.20mm)	水平方向 (n:極数) 2.6+0.14 \times nN 以下 (注2)	○	-
	FPC保持力	適合FPCで測定する。 (初期, FPC端末厚 t=0.20mm)	水平方向 (n:極数) 5+0.07 \times nN 以上 (注3)	○	-
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -55 \rightarrow +15 \rightarrow +35 \rightarrow +85 \rightarrow +15 \rightarrow +35 \rightarrow 時間 30 \rightarrow 2 \sim 3 \rightarrow 30 \rightarrow 2 \sim 3分 に 5サイクル放置する。	① 接触抵抗: 100m Ω 以下 ② 絶縁抵抗: 50M Ω 以上 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	定常状態の耐湿性	温度 40 \pm 2 $^{\circ}$ C, 相対湿度 90~95%中に 96時間放置する。		○	-
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10 \rightarrow +65 $^{\circ}$ C, 相対湿度 90~96%中に 10サイクル(240時間)放置する。	① 接触抵抗: 100m Ω 以下 ② 絶縁抵抗: 1M Ω 以上(高湿時) ③ 絶縁抵抗: 50M Ω 以上(乾燥時) ④ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐熱性	温度 85 \pm 2 $^{\circ}$ C中に, 96時間放置する。		○	-
	耐寒性	温度 -55 \pm 3 $^{\circ}$ C中に, 96時間放置する。		○	-
	二酸化硫黄 [JIS C 60068-2-42]	温度 40 \pm 2 $^{\circ}$ C, 相対湿度 80 \pm 5%, 濃度 25 \pm 5ppmに, 96時間放置する。	接触抵抗: 100m Ω 以下	○	-
	はんだ付け性	はんだ温度 245 \pm 3 $^{\circ}$ C, 浸せき時間 3 \pm 0.3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	-
はんだ耐熱性	1) リフローの場合 ヒート温度 250 $^{\circ}$ C MAX 220 $^{\circ}$ C以上, 60秒~90秒 リフロー回数: 2回以内 2) はんだこての場合 350 \pm 10 $^{\circ}$ C, 5 \pm 1秒間	外観の変形, 及び端子などに 著しいがたがないこと。(注4)	○	-	
	\triangle の数	訂正記事	設計	検図	年月日
	1	DIS-F-00007424	TS. WADA	HS. HIRAHARA	20201217
備考			承認	HS. HIRAHARA	20201021
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。			検 図	HS. HIRAHARA	20201021
注1) 本品は, ワンアクションロック(嵌合操作はFPC挿入のみ), 上接点仕様です。 FPC抜去が必要な場合のみ, ロックパ-の開閉を実施してください。			担 当	TS. WADA	20201021
注2) FPCは本品に対し, 斜めに挿入しないようご注意ください。			製 図	NM. YONEYAMA	20201019
注3) FPCに垂直方向の荷重が加わる場合は, FPCを固定してご使用願います。 FPCの仕様により上記の値が変わる場合があります。					
注4) モールドに若干ふくれが発生する場合がありますが, 製品性能上問題ありません。					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番 SLC-382927-99-00		
HRS	製品規格表		製品名		FH72-**S-0.3SHW(99)
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL580 \triangle 1/1